

高田区 地域協議会だより

令和2年7月25日 発行

発行：高田区地域協議会
編集：高田区地域協議会・編集委員
南部まちづくりセンター
Tel 025-522-8831・Fax 025-522-8832

第42号

第四期の地域協議会が始動

地域活動支援事業を審査

令和2年度提案事業17件中、14件を採択
追加募集は行わないことに

5月18日（月）、新メンバー（委員名簿参照）による高田区地域協議会を開催し、会長に本城文夫委員、副会長に澁市徹委員と高野恒男委員を選任したほか、会議の運営方法などを協議しました。

また6月15日（月）には、令和2年度地域活動支援事業の審査・採択を行い、提案のあった17件の中から14件を採択するとともに、追加募集は行わないことに決定しました。



▲5月18日の初会合の様子（会場：福祉交流プラザ）

▼委員名簿（50音順、敬称略）

飯塚 よし子（北城町三）	富田 晃（本町三）
浦壁 澄子（本城町）	西山 要耕（寺町三）
小川 善司（本町七）	廣川 正文（北城町一）
北川 拓（南本町三）	本城 文夫（南本町三）
栗田 浩子（西城町一）	松倉 康雄（大町五）
小嶋 清介（北本町二）	松矢 孝一（本町二）
佐藤 三郎（大町一）	宮崎 陽（本町五）
澁市 徹（寺町三）	村田 秀夫（大手町）
杉本 敏宏（東本町五）	茂原 正美（幸町）
高野 恒男（幸町）	吉田 昌和（南本町三）

4ページに委員の抱負を掲載

令和2年度地域活動支援事業

《審査結果》

高田区の予算 1,240万円

募集期間 4月1日～4月20日

提案件数・補助希望金額

17件 1,015万8千円

採択件数・採択額

14件 796万8千円

予算残額 443万2千円

採択事業の詳細は、2.3ページを参照

高田区の皆様とともに

会長 本城 文夫

このたび第四期の高田区地域協議会の会長に選任いただきました。地域協議会の役割は地域の自治を高めること、市の基本条例によって住民の意見を反映すること、市長からの諮問事項について、住民の立場で話し合うこと、など「地域自治区」としての法律と条例に基づいて活動を推進したいと思っております。

高田区二十人の委員が任期四年間、市政と市民をつなぐ責務をしっかりと果たしてまいります。新型コロナウイルス感染症の影響が私たちの生活を直撃しています。「自主自立のまちづくり」に向けて皆様と共に全力を尽くします。

採択事業の一覧(受付順)

単位：千円

事業名	提案団体名	事業概要	補助希望額 (採択額)
雁木の町並み保存と町名を伝承する事業	本町一丁目・町の歴史を伝承する会	歴史・文化の保存・活用に役立て、地域の活性化を図るため、旧町名「堅春日町」の標柱看板を設置するとともに、「雁木の町並みと堅春日町」のパンフレットを作成・配布し、地域住民を対象とした学習会を開催する。	240 (240)
青田川桜木整備と景観啓発事業	青田川を愛する会	青田川の愛護を通じた地域の活性化や景観整備を図るため、青田川沿いに植栽された桜木の枝払い、寄生植物除去等を行い、桜木保存を図るとともに、啓発ポスターの作成・配布、青田川市民茶会を開催する。	900 (810)
町家交流館高田小町及び高田世界館周辺美化・緑化事業	本町六丁目町内会	市内外から訪れる観光客等に安らぎを提供し、町内会の活性化や親睦を図ることを目的に、町家交流館高田小町周辺及び高田世界館ガーデンの美化・緑化事業を行う。	145 (130)
ステイホームの今だから、大切な人にハガキを出そう！郵便の父 前島密生誕の地から、高田区のみなさんとハガキを使った交流や地域観光のPR事業	ちりつも観光プロジェクト	郵便の父・前島密の生誕の地という地の利をいかして「ハガキで伝える思い」を顕彰するとともに、高田区のPRに取り組むことを目的に、年4回の観光ハガキの配布等を実施する。	987 (888)
三世代交流のまちづくりを発信する事業	南三世代交流プラザ運営協議会	高田地区南部9町内会を中心に小中学校、幼稚園、保育園、PTA、子供会、老人会などと連携した人にやさしいまちづくりを推進し、三世代間の交流促進につとめてきた17年間の成果・実績を冊子にまとめ、今後の活動に反映する。また、三世代交流のつどいを開催し、市の平和学習・原爆ひろしまの映写やミニ体操会を実施する。	600 (600)
お馬出しプロジェクト事業	お馬出しプロジェクト	城下町高田に残る歴史ある地名や行事等を大切にし次世代に伝えるとともに、賑わいの創出とまちの活性化に繋げることを目的に、地域をテーマにした学習（お馬出し塾）、高田のまちを知っていただくための歌と方言本の製作等を実施する。	410 (369)
NEO 浄興寺プロジェクト事業	NEO 浄興寺プロジェクト	浄興寺を観光資源として活用することで、寺町地域全体の活性化や住民の交流を図るとともに、全国からの出店者・出演者との交流により、上越の魅力を発信することを目的に、手づくりの市や演芸場などを開催する。	1,300 (1,170)

事業名	提案団体名	事業概要	補助希望額 (採択額)
地域で「あんしん」子どもへの暴力防止事業	CAP・じょうえつ	いじめや虐待、暴力を防ぎ、子どもたちが安心して過ごせる社会の実現に向け、子どもへの暴力防止のワークショップの開催、人権啓発のホームページを作成し、情報発信する。	480 (480)
高田小町交流広場発着高田周辺サイクル&ウォーク散策マップ制作事業	NPO 法人 街なか映画館再生委員会	高田小町交流広場からスタートして交流人口をより広域に高田城址公園などを巡らせることで、賑わいの創出やまちづくりの推進を図るため、サイクリングコースとウォーキングコースを設定した街巡りマップを制作する。また、コース途中で見つけた「新しい景観—高田」スマホ写真展を開催する。	319 (319)
高田瞽女の文化の保存・発信事業	NPO 法人 高田瞽女の文化を保存・発信する会	高田瞽女の文化を全国に発信するため、瞽女ミュージアム高田を拠点に企画展や門付け再現等を実施し、まちおこしに寄与する。	210 (189)
北部地域の文化・賑わいを創出する事業	高田区北部振興会	世代間・団体間の交流を深め、地域の活性化等を図ることを目的に、紅葉のライトアップによる景観の創出、野外演奏会等を実施する。	560 (504)
地域資源を活かした高田まちづくり事業	特定非営利活動法人街なみ Focus	地域の活性化とともに、交流人口の増加と歴史文化の保全を目的に、朝市の活性化、手作り街なみ保全、歴史・景観フォーラムを実施する。	478 (430)
風鈴街道 in 雁木 2020 事業	越後高田・雁木ねっとわーく	雁木を歴史的文化遺産として認識してもらうとともに、歴史景観を後世に残していくための機運の醸成を図り、市内外に発信し観光振興に役立てるため、写真コンテストや雁木の軒先に風鈴を飾るなどの景観づくりを実施する。また、昨年度掲載することができなかった雁木を紹介する冊子（昨年度の改定版）を製作する。	980 (931)
高田の文化・文学・文芸を継承する事業	高田文化協会	高田の文学、文化財に関わるマップを作成し、若者や転勤者などから興味を持ってもらうとともに、高田の食文化や遊びの文化など、明治、大正、昭和、平成の各年代を生きた人からの証言をもとに記録冊子を作成する。また、かなやの里の障がいのある人と当協会会員・市民有志のコラボ作品展等を実施する。	1,009 (908)

諮問案件の審議 (諮問第58号 小林古径記念美術館の管理の在り方について)

令和2年10月3日から供用開始する見込みとなった小林古径記念美術館の開館時間及び休館日、観覧料について、令和2年3月17日付けで市から諮問がありました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和2年4月24日に書面による審議を行い、諮問内容を「適当」と判断しました。

第4期高田区地域協議会委員の抱負(50音順、敬称略)

※本城会長のあいさつ・抱負は表紙に掲載しています。

飯塚 よし子 (北城町三)

行政と市民が一体化した街作り、地域を活性化出来る様議論し、将来ある若者達が継続して生活出来、この街に住んで良かったと言える街に行きたい。

富田 晃 (本町三)

4年後に、今より活性化されている高田区を目指し、高田区在住の皆さんから提案されている事業の支援を確実に実施していきたいと思っています。

浦壁 澄子 (本城町)

新型コロナウイルス感染恐怖社会の中で増々地域の繋がり、共生、活性化の必要性を痛感している。市民と市とのパイプ役として意見要望を元気で活力ある地域づくりに生かしていきたい。

西山 要耕 (寺町三)

高田地区が抱えている地域課題に対し、公平と将来を見据えた視点で向き合い、議論を重ねながら解決に向かって行動したいと考えています。

小川 善司 (本町七)

より多くの人が自分の街に誇りをもって暮らせるように、この地域協議会がそれなりの役割を担う事が出来るよう、これから4年間の責務を担って努力していきたいと思う。

廣川 正文 (北城町一)

子どもからお年寄りまでだれにとっても居心地のよいまちづくりにつながるよう、皆様の声を大切にして地域協議会の活動に積極的に参画していきます。

北川 拓 (南本町三)

月に一度の協議会ですが、地域に還元できるような議論を委員の皆さんと行い、魅力あるまちづくりに少しでも貢献できるよう努めます。

松倉 康雄 (大町五)

一期目の委員として、高田地区がどの様に再生されて行くのがベストなのか、様々な意見を聞き、体験し地域活性化のお役に立てる様活動いたします。

栗田 浩子 (西城町一)

近年の高田は、消えかけていた魅力が再発見されて活気づいているなど感じます。地区の皆さんの活動を後押しできるように私も頑張りたいです。

松矢 孝一 (本町二)

今回は7名の方が新しい委員になりました。地域の課題や活性化などについて侃侃諤諤(かんかんがくがく)共に議論したいと思います。新委員に期待しています。

小嶋 清介 (北本町二)

若者が住みたくなる町、子供たちの元気な声が聞こえる町にしたいものです。地域で街づくりをしている人たちを応援し、一緒に協力していくことが地域協議会委員としての自覚と考えます。

宮崎 陽 (本町五)

初期より委員になって82歳になりました。高田区にも地元資本の企業が僅かとなりました。確固たる目標と手段を持たないことが原因、声を上げましょう。

佐藤 三郎 (大町一)

地域の皆さんの声に耳を傾けながら、区域内が抱える様々な課題を一つ一つ解決し、安心・安全なまちづくりと地域の活性化に取り組んでまいります。

村田 秀夫 (大手町)

新たな困難の中でも、この街の人たちが絆を深め心豊かに暮らしていけるようにするにはどうしたらよいか、皆さんで考え新たな挑戦をしたいと思います。

澁市 徹 (寺町三)

今までの4年間の経験を基に、皆様のご意見を伺いながら、市民の抱える課題・問題を見つけ出し、協議会で話し合い、解決するための方策を見つけるようにします。

茂原 正美 (幸町)

高田を中心とする地域に多くの宝物がある中・転出超過数県内ワースト1・市街地再開発前より来客と売上減少等々問題意識がある。又、「地域自治区と地域協議会」資料を基に、是々非々で努めたい。

杉本 敏宏 (東本町五)

高田区地域協議会ができて10年。新たな課題も生じ、曲がり角に来ています。地域住民の願いを行政に届ける役目を、果たしていきたいと思っています。

吉田 昌和 (南本町三)

高田の街は城を中心にできた街です。高田城復元を目ざして、意欲のある仲間達と前を見て、地域の架け橋として高田の発展に取り組んでいきます。

高野 恒男 (幸町)

歴史、文化溢れる高田区。この町を愛し、大切にし、住んで良かった、住み続けたい町にするために活発に議論します。多くの皆様の声を聞き、会に反映させます。



南部まちづくりセンター

〒943-0892

上越市寺町2丁目20番1号

(上越市福祉交流プラザ3階)

TEL 025-522-8831・FAX 025-522-8832